

「学校における金融教育の年齢層別目標」 公表に当たって

金融広報中央委員会は2007年に発行した『金融教育プログラム—社会の中で生きる力を育む授業とは—』の中で、金融教育を「お金や金融の様々なはたらきを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育」と定義しました。

同プログラムは、上記の金融教育の定義のほか、「年齢層別の金融教育内容」、学校における金融教育の進め方、学校段階ごとの各教科等における指導計画例を掲載しており、金融教育の体系書として全国の学校でご活用頂いています。ただ、発行後7年余りが経過し、その間、学習指導要領が改訂され、小学校、中学校、高等学校で実施されるに至っていることを受け、当委員会では『金融教育プログラム』の改訂に着手することを決めました。

まず、金融広報中央委員会では、2014年6月に「学校における金融教育推進のための懇談会」を設置し、『金融教育プログラム』の改訂をはじめとして、学校における金融教育をさらに推進するために必要な事項について専門家のご意見を伺うこととしました。

同懇談会では『金融教育プログラム』の「年齢層別の金融教育内容」の改訂を中心に検討を進め、この度、その結果を本パンフレットのP.3～16の「学校における金融教育の年齢層別目標」として取りまとめ、本パンフレットおよび金融広報中央委員会ホームページにより公表しました。

この改訂版作成の過程では、学習指導要領およびその解説、ならびに全国の学校教育における金融教育への取り組み状況を踏まえるとともに、金融経済教育推進会議が作成した「金融リテラシー・マップ」の内容についても検討対象としました。

金融教育はお金や金融・経済全般に関して学び、社会の中で生きる力を身に付ける教育です。その内容は多岐に亘り、高等学校卒業までに社会の中で生きるために必要な力を身に付けることは容易ではありません。このため、『金融教育プログラム』では、金融教育の内容を「生活設計・家計管理に関する分野」、「金融や経済の仕組みに関する分野」、「消費生活・金融トラブル防止に関する分野」、「キャリア教育に関する分野」の4つの分野に整理し、各分野について、合計13分野に分類した上で、13分野をさらに38に分類して分野目標を示し、それぞれについて年齢層別の発達段階に合った目標を提案しています。

各分野の目標を達成するための年齢層別の目標が提示されているため、これらをひとつずつ

達成していくことによって、高等学校卒業までに社会の中で生きる力を身に付けることができます。こうした「学校における金融教育の年齢層別目標」のおおまかなイメージを示した概念図はP.19の通りです。なお、「学校における金融教育の年齢層別目標」の分野目標および年齢層別目標は、学習指導要領または同解説に示された教科等の内容を反映させていますが、学習指導要領および同解説に記述されていないものもあります。ただ、それらには、全国の学校における各教科の発展的な学習や総合的な学習の時間等において実践されてきた優れた授業内容を基にしたものが含まれること、ならびに、金融広報中央委員会としてはこの表のなるべく多くの目標が達成されるように学校教育における実践が行われることが望ましいと考えていることをご理解頂ければ幸いです。

また、「学校における金融教育の年齢層別目標」の各項目のうち末尾に教科等名が記載されたものがあります。これらは、学習指導要領またはその解説に照らして、その内容を学習する教科等を挙げていますので、学校で金融教育を実施する際にご参照頂ければ幸いです。

さらに、金融教育の内容やそれに関する様々な出来事を理解したり、考え、判断したりする際に活用することができる概念を本パンフレットのP.17～19に記載しました。これらの概念の多くは高等学校までの金融・経済等にかかわる内容を含む教科や領域の中で扱われています。学校の先生方が子供たちの年齢層に応じた金融教育を実践される際に、こうした概念を念頭に置いてご指導頂き、高等学校卒業までの段階で、子供たちがこうした概念を体得し、活用できるようになれば、子供たちにとって、生涯学習の基礎としてこれからの社会を生き抜いていくための力を培う上で大きな効果を発揮するのではないかと期待しているところです。

社会における不確実性が拡大し、個人が適切な情報に基づき、将来を見通して的確に意思決定する力を身に付けることが求められる今、学校における金融教育が今後より一層広く行われることを切に願って、「学校における金融教育の年齢層別目標」（「年齢層別の金融教育内容」改訂版）をお届けします。

2015年3月
金融広報中央委員会

¹ 委員等名簿はP.20の通り。